

山行報告 南アルプス深南部 ボンジ山～京丸山、岩岳山

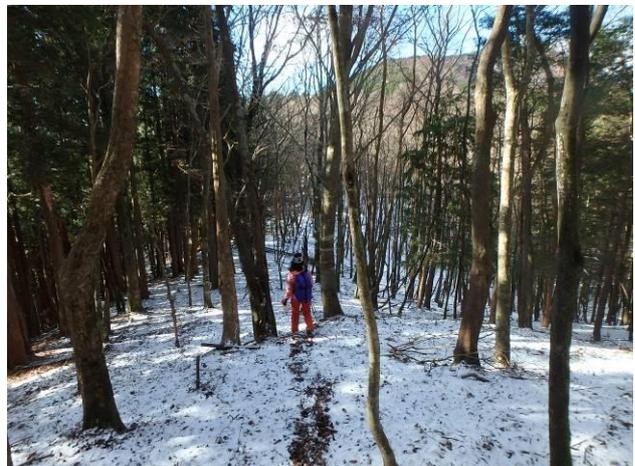


- 【行動日】 12月5日〈晴〉 【ルート】 ボンジ山～京丸山
【登山方法】 やぶ山縦走 【メンバー】 L吉川（記）、柘植
【行程】 12/4 土気 20:00－新東名－浜松浜北 IC一道の駅いっぶく処横川仮眠
12/5 道の駅－石切ゲート駐車 7:40－ボンジ山 10:20－京丸山 11:40－山の神 13:40－
藤原家 14:00－石切ゲート 15:40－藤ノ瀬ホテル公園（幕営）

【内容】今年の2月に京丸山を訪れているので道路状況の不安もなく、周辺の林道等、確かめながらの余裕で石切ゲートに来た。並ぶ二つのゲートの右は京丸山へ、ボンジ山は左のゲートへと進む。作業小屋の先に登り口を見つけ取り付く。あるような無いような踏み跡を辿り急な斜面をひたすら、標高差500mを登りきるとアキレス腱が悲鳴を上げそう。標高1000m付近でようやく一息つく。暫く穏やかな灌木を進み、その先ちょっとしたピークを過ぎ、鞍部で地形図には波線が横切っているが踏み跡は見つけられなかった。もう一登りで京丸へ続く稜線に立ち、ボンジ山へと向かう。



林道からボンジ山への取付き



前日の雪が残る広い稜線をボンジ山に向かう

緩やかな下りは、二重稜線でうっかりできない地形だ。南側の植林帯の縁を進み軽い登りの先に葉を落とした細い木々の中にボンジ山の山名板が、木に括り付けられている地味な山頂！稜線に戻ってから京丸山へは、踏み跡もあり気楽に歩けると思いきや、北西の強風にさらされながら進む。1328mのピークでも地図上の破線を見つけられなかった。この辺りの地形図の破線は当てにならない。稜線は緩やかに広がりブナや、カエデの中を進む。記憶も新たな京丸山の山頂では、2月と同じ場所で大休止！



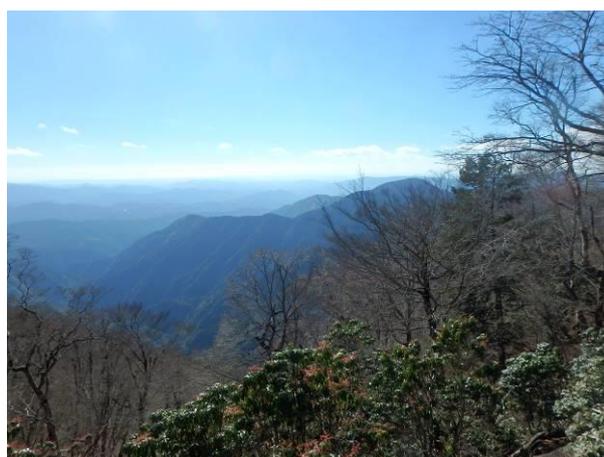
ボンジ山の山頂



京丸山への尾根は原っぱのようなところもある



京丸山の山頂



京丸山からボンジ山を望む

京丸山を後に下山開始。急な斜面や足場の悪い場所もあるが、強風から解放され快適に林道に降り立つ。この林道は標高 1000m 位まで来ているが、今は 500m ほどの標高にゲートがあり止められている。



下山途中から京丸山



今は住む人もいない藤原家

山の神から林道を下り、今は山を下りて無人となった藤原家に立ち寄り6kmの林道を下りゲートに戻る。途中、京丸川に架かるアルミの吊り橋を上流に向かって眺める位置に置かれた椅子が妙に気にかかった事と、ハチの巣箱のようなものが、道端に置かれていたが、あれは何なのか？

2月に縦走した稜線を確認めたり、京丸川を渡渉し林道に這い上がった場所を再び歩いたりと前回の厳しい山行も懐かしく思われた。

【行動日】12月6日〈曇り〉 【ルート】岩岳山

【登山方法】ハイキング 【メンバー】L吉川(記)、柘植

【日程】12/6 藤ノ瀬ホテル公園ー旧ログペンションシンフォニー駐車場 6:50ーヤシオの里登山口 8:00
ー荷小屋峠 9:20ー岩岳山 10:17ー入手山ー駐車場 13:00ー浜松浜北 IC ー新東名経由ー帰葉

【内容】国道を分け茶畑を抱えた集落を二か所通過し、ぐんぐん標高を上げながら車を進め広い駐車場に到着する。林道を下り、アカヤシオの里を過ぎて間もなく、小俣川を渡り山肌のトラバース道をひたすら登り続け荷小屋峠に立つ。途中二箇所崩落場所があったが、迂回路があり、通行には問題ない。



小俣川を渡って荷小屋峠へ向かう

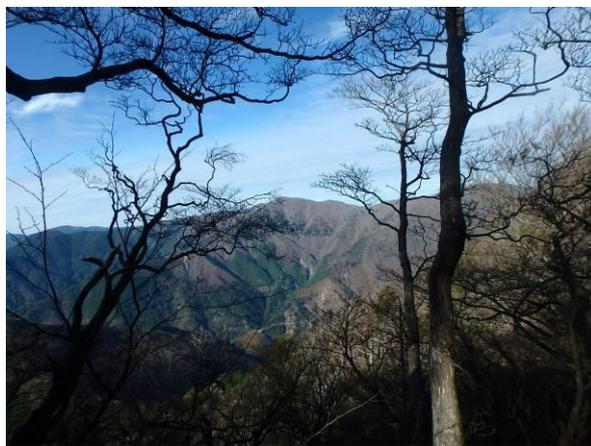


荷小屋峠にて

山壁を縫うように登り続ける単調な中、綺麗に色づいたモミジに癒される。荷小屋峠から、昨日歩いた京丸林道や2月に縦走した、京丸山から高塚山が手の届く位置に見渡せ感動した。岩岳神社を分け、岩岳山へは、岩稜痩せ尾根のアップダウンやヤシオツツジの群生地通過、また展望もあり、真っ白な富士山も望んだり、変化に富んだルートで楽しい！60年に一度咲く唐傘ほどの牡丹の花は、京丸山から見て、この岩岳山に咲くと言われているとか！ここは、やはりヤシオの咲くころ訪れたいと思う。



岩岳山の山頂



左ボンジ山と中央が京丸山



遠く大無間山から風不入の稜線



岩岳山を振り返る

入手山、キマタ山で見かけた姫沙羅の茶色でつややかな太い幹もとても美しい。地形図を見るとピークから小さな尾根が発生しているが、登山道があるので迷いようがない。キマタ山を過ぎてから植林帯の急斜面を下り、林道がちらちら見え始めても、しぶとく尾根を歩き駐車場近くに下山した。朝から車が二台あったが、登山者に会うことはなく静かな山歩きだった。

二日間人に会う事もない谷合に、誰が渡るのか古くないアルミの吊り橋がかかっていたり、地図上には、やたら破線があり、この古道にやたら魅かれるものがある遠州の山歩きでした。